



《新任者養成研修⑦～⑧》

◆会場：ウインクあいち

◆企画：新任者養成委員会

新任者養成研修もついに8回シリーズの最後を迎えました。内容が多岐にわたり、時には2週連続になることもあり、参加者にとっても大変だったと思います。そんな中、休むことなく受講された方も多く、みなさんの努力に頭が下がる思いです。

勤務の都合などにより、すべての回は受講できなかった方も多かったですと思いますが、ここで知り合った仲間と共に学びあい、支えあい、これからのソーシャルワーカー人生を歩んでいただきたいと思います。

第7回 H29年1月14日(土)

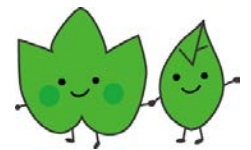
テーマ/講師

『医療機関機能別専門知識1～4』/森彩氏(千秋病院:回復期・地域包括ケア)

高麗彰子氏(刈谷豊田総合病院:療養)

樋渡貴晴氏(刈谷豊田総合病院:緩和ケア)

石川将弘氏(星ヶ丘アメニティクラブ:老健)



機能の違う医療機関4施設で勤務する講師から、概要のほか、現場の特徴などについて講義が行われました。短い時間で内容が濃く、ボリュームも多かったので、一度では覚えきらない内容だったかと思います。実際の業務の中で少しずつ他の機関についての理解を深めていただきたいと思います。



第8回 H29年1月28日(土)

テーマ/講師

『身寄りのない人への援助』/水野一也氏(稲沢厚生病院)

『自己覚知』/加藤良子氏(大学非常勤講師)

【講義:身寄りのない人への援助】

どの機関に勤務していても、身寄りのない方に出会う機会は多くなっており、参加者の関心も高い内容だったため、みなさん真剣に耳を傾けていました。現場の中でソーシャルワーカーとしてどのような対応ができるか、ソーシャルワーカーだからこそどのような対応を求められるかについて、講師の経験も交えた内容でした。

最後に『自己覚知』の講義が行われ、勤務をはじめてから1年ほどの間を振り返り、ソーシャルワーカーとしての自己をどのように理解するか、将来の自分の姿を思い描いてこれからの業務に活かしていただきたいというメッセージが伝わる講義でした。

講義の最後には修了証が委員から手渡されました。長い研修でしたが、参加者のみなさんお疲れ様でした。

また、長い研修期間を支えてこられた新任者養成委員会のみなさま、講師をされた会員の諸先輩方の熱意により無事に全8回を終えられたことに感謝申し上げます。

今年度受講できなかった新任者の方、また過去に受講する機会を逃した会員の方、過去に受講したけど復習したい方もぜひ平成29年度の研修にご参加ください。

たくさんの受講者をお待ちしております。



【終了証の授与】

【記載者: 研修理事 高須悠乃】